

経営体の概要

- ・所在地:神奈川県寒川町
- ・経営体名:A園芸
- ・栽培作物・作付面積:施設トマト・22a(12a、10a)
- ・労働力:4名(令和5年5月現在)

導入技術

- ・統合環境制御装置 ((株)三基計装)
- ・灯油式CO₂発生器 (ダイニチ工業(株))
- ・生ガス式CO₂発生器 (高圧ガス工業(株))
- ・環境モニタリング装置 ((株)誠和、(株)セラク)
- ・細霧冷房 (福栄産業)
- ・培地冷却 (トーマス科学機械(株)のハンディクーラー使用)
- ・環境制御装置とクラウド型モニタリング装置の連携

導入経緯

- 20年前に環境制御装置を導入していたが、時期毎の収量のばらつきが大きく、より効果的な制御方法を模索していた。
- そこで、ハウスの環境の実態を把握するためにH23年に環境モニタリング装置を導入した。
- H30年に環境制御装置とクラウド型モニタリング装置の連携で統合環境制御及び遠隔操作を実践。
- R2年に高温対策として外気導入及び培地冷却を行った。

取組の特徴・効果

- モニタリング装置と連携した統合環境制御及び遠隔操作によりきめ細やかな栽培管理が実現できている。
- 灯油式及び生ガス式CO₂発生器によるハイブリッド施用及び局所施用により増収効果が高まった。ランニングコストの抑制にもつながっている。
- 外気導入及び培地冷却の導入により、高温期でも成育が安定し、作型を早めることが出来た。
- 高温期から厳寒期まで周年を通じてトマトの成育バランスが安定し、品質の良い果実がコンスタントに収穫できるようになった。

CO₂局所施用

統合環境制御装置